

資料2. 勤労生産学習年間基本計画

活動計画 (●は種期 ~~~~育苗期 ×移植 ——成育期・除草 ▨収穫期 ★~利用 ㊦~記録・整理)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動内容	1. 自然に親しみ見つめる心を養う。	○ 計画立案	◎ 栽培活動						○ 収穫祭	記録整理	編集	まとめ	反省計画
	2. 収穫をめざし働くことの喜びや成就感を体得する。	○ 農園設定・各学年栽培計画作成・実施	・トウモロコシ (1年)						★ (給食)	たい肥づくり		★ (給食)	
	3. 植物と語り合い、継続する心を育て、やりぬく力を養う。	○ 作付け準備 (施肥・耕起)	・カブ (1年)						★ (給食)	㊦			
	4. 安全に注意しきまりを守り、協力し合う態度を育てる。	○ 用具の確認・設備の確認・肥料の準備	・落花生 (2年)						★ (給食)	㊦			★ (節分)
	5. 生産物の利用法を理解する。	○ 地域関係機関との協議	・サツマイモ (3年)						★ (給食)	㊦			
他領域との関連	学校行事 (勤・生)	・くわ入れ式	・田植え		(大清掃)		・稲刈		・収穫祭	(大清掃)		(大清掃)	卒業式
	学級会	◎	◎計画・役割			◎収穫分担		◎収穫の反省・記録整理					
	学級指導	◎勤労生産学習とは				◎安全に		◎収穫法					
	道徳	◎向上心・計画実行	◎勤労と奉仕		◎自然愛護		◎自由・責任	◎協力・寛容		◎思慮・反省			
	各教科	◎記録文の書き方	◎記録文の書き方	◎記録	◎作文・詩		◎作物利用						
創意活動の時間	栽培の計画	栽培方法理解活動実施	除草・追肥・散水	収穫				たい肥作り次年度準備					
地域関係機関の協力	◎農青連 水稲育苗 PTA 花壇整備	◎耕起・代かき	◎消毒		◎かかしコンクール	◎稲刈	◎脱穀	◎収穫祭参加	◎反省・次年度計画				

(三) 勤労生産学習年間基本計画 (資料2参照)



除草作業 (2年) - 落花生の栽培 -

資料3. 活動経過

段階	児童の活動内容	時間	活動上の留意点
事前	1. 除草について話を聞き、きょうの活動についてつかむ。 (1) 意義 (2) 除草の方法	5	○ 農青連の担当者より除草の意義・方法について話があるので、よく聞くようにさせる。 ○ 農園への移動をなるべく短時間で終了し、活動時間が長くなるよう努力する。 ○ 実技指導については、特によく聞かせる。
	2. 除草の活動についてしっかり確認する。 (1) めあて ・ 苗を大切に、ていねいに除草をする。 ・ 進んで作業に取り組み、協力し合う。 ・ けがのないよう安全に注意する。 (2) 除草のしかた ・ 根を残さないように泥の中に指を入れてとる。 ・ 根元の泥を起こして空気を入れてやるようにする。 ・ 草は泥の中に押しこめて泥を平らにする。	35	○ 事前にねらい等は指導しておくことにして、能率的に確認させるようにする。 ○ めあての一覧表を音読させ、短時間で確認終わるようにする。 ○ 特に土手や水田へ出入りするときにはけが多いので、足元には注意させる。 ○ 項目を追って説明図でしっかり理解させる。 ○ 苗を足で踏まないように注意して進ませる。 ○ 隣の列との間に取り残しがないように、協力し合って作業させる。 ○ 草はひとまとめにして泥の中に押しこめ、泥をかけ平らにするよう特に注意させる。 ○ 児童の農に農青連の方々に入っていたく。
活動中	3. 除草をする (1) 一列横隊に並び、自分の分担か所を知る。 (2) それぞれの分担にしたがい、除草をする。		○ 一列横隊で進行方向は一方とし、自分の分担が終わった者は、逆方向から手伝わせる。 ○ 経験者がほとんどいないので、一人3列を分担させるようにする。
	4. 後始末をする。		○ 足を洗い、急いで集合・整理させる。
事後	5. 活動のまとめと反省をする。 (1) 感想と反省 (2) 今後の活動について	5	○ 代表に感想と反省を発表させ、お互いの努力を認め合い、成就感を味わわせる。 ○ 水の管理やかかし作りについて簡単にふれる。

(四) 各学年の栽培作物と利用

第一学年 トウモロコシ・カブ
第二学年 落花生
第三学年 サツマイモ
第四学年 大豆
第五学年 ジャガイモ・大根
第六学年 水稲 (モチ米)

大部分の作物は収穫感謝祭や給食時に全校生で会食する。落花生や大豆は節分に使い、モチ米は卒業式のお祝いとしても利用した。

(五) 活動の実際

低学年の実践を主として作物への語り重視して実践した。
高学年の実践を主として栽培作物の一連の作業のしかたとその意義を